

【質問回答】DX人材育成研修業務に係る情報提供依頼

令和6年2月20日

項番	資料等	ページ数等	質問	回答
1	D X 人材育成研修業務に係る情報提供依頼書 (RFI)	P6	DX人材のスキルマップ内にLoGoフォーム、WinActor、kintoneなど記載がございますが、 市内では当該ツールの使用が前提となっているということでしょうか？	市内では当該ツールは使用していますが、当該ツールの操作研修等は別途実施しておりますので、「DX人材育成研修業務」委託として調達する範囲とはなりません。
2	D X 人材育成研修業務に係る情報提供依頼書 (RFI)	P6	DX人材のスキルマップのレベル3に、「情報処理技術者試験レベル1 (ITパスポート) に相当する知識」や「情報処理技術者試験レベル2以上に相当する知識」などの記載がございますが、 研修内容として、資格試験合格のためのコンテンツを想定されていますでしょうか、 それとも、当該資格相当の知識を学べるコンテンツを想定されていますでしょうか？	相当する知識の習得をめざすという趣旨で職員に資格取得を求めることはありません。 資格試験対策のコンテンツは不要です。 当該資格相当の知識を学べるコンテンツがあれば御教示ください。
3	D X 人材育成研修業務情報提供依頼回答書	質問10	「職員100名が受講する場合の研修費用を御教示ください。」とございますが、 これは令和6年度実施のレベル2 (DX推進リーダー向け) を対象に、弊社が提案するEラーニング/研修を前提に置き費用を積算するという理解でよろしいでしょうか？	お見込みのとおりです。 1人あたりの単価×100人 = 研修費用 と内訳も御教示いただけますと幸いです。
4	レベル2【D X 推進リーダー】について	-	市民のニーズや業務課題は、具体的にどのようなものがあるか	本市の総合計画である「将来ビジョン・岸和田 基本構想」 https://www.city.kishiwada.osaka.jp/uploaded/attachment/126318.pdf 個別目標を実現するための中期的な戦略シナリオ「将来ビジョン・岸和田 第1期基本計画」 https://www.city.kishiwada.osaka.jp/uploaded/attachment/127293.pdf こちらを参照ください。
5	レベル2【D X 推進リーダー】について	-	現場でのDX推進を進める上での、現状の課題はどのようなものを認識しているか	様々ありますが、現場との意見交換などで認識しているところだと、 デジタルリテラシー、デザイン思考、データ活用など習得した職員が少ない、スキル不足。 現場ではDX推進のために新たな業務をするだけの余裕がない、マンパワー不足。 生産年齢人口減による労働力制約などDX必要性の理解、マインド不足。 があると思います。
6	レベル2【D X 推進リーダー】について	-	現状のデータ活用度合いはどの程度か (データ収集のみor加工や修正できているorデータ活用して分析作業実施している)	部署によってばらつきがありますが、多くが「データ収集のみ」に該当すると思います。 加工や修正、データ活用して分析作業をしているといえるのはほんの一部分だけであるのが現状です。
7	レベル2【D X 推進リーダー】について	-	データ活用における課題や障壁は何か	職員がデータ活用の手法と有用性、EBPMなどの理解と意識が醸成できていない。スキルもない。 データ活用の有用性、EBPMの意識醸成がすすんでいないためデータ収集・共有も進んでいない。
8	レベル2【D X 推進リーダー】について	-	自治体DX基礎知識は、具体的にどのようなスキルを指しているか	ICTの基礎知識のほかに、総務省の自治体DX推進計画に沿って、フロントヤード改革や、行政手続きのオンライン化、AI・RPAの利用推進に必要な知識を想定しています。
9	レベル3【DX推進マネジャー】について	-	現在どのようなPJがいくつくらい動いているか	DX推進マネジャーの「デジタル技術導入のプロジェクトをマネジメントできる。」とは、業務システム導入その他デジタル技術導入を現場で指揮できる人材像を想定しています。 現在動いているプロジェクトにあわせたものを想定している訳ではありませんが、強いて言えば自治体情報システム標準化が現場も関係するプロジェクトといえます。
10	レベル3【DX推進マネジャー】について	-	具体的には、どんなデジタル技術を活用していく想定か (AI,RPA,クラウド,その他)	AI・RPAの利活用推進のほかに、BPR、デザイン思考、データ利活用を推進していきたいと考えています。
11	レベル3【DX推進マネジャー】について	-	レベル2で求められているスキルや知識とレベル3でのレベル定義の違い (デザイン思考、データ利活用基礎知識)	レベル定義の違いは、デザイン思考、データ利活用については、より高度な知識を想定しています。 例えば、レベル2では、デザイン思考とは何か・プロセスやフレームワーク・手法を学び、レベル3ではさらに、デザイン思考を課題解決に実践するための方法を学ぶことを想定しています。